

第6回インフラマネジメント講演会

「中津川市神坂地区 地域協働型インフラ管理実施報告-地域住民とMEによる協働点検-」

実施報告書

2016年3月24日

1. 概要

- 日時： 2016年3月18日（金）13:30から17:00
- 場所： 岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室（大）
- 参加者人数： 47名（社会基盤メンテナンスエキスパート14名、中津川市神坂地区関係者6名、
防災士9名、NPO1名、民間建設業者1名、行政3名、大学関係者13名）
- 主催： 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター（しくみづくり開発領域）
- 共催： 中津川市神坂地区区長会
- 後援： 東海圏減災研究コンソーシアム/清流の国ぎふ防災・減災センター
- 趣旨

中津川市神坂地区では、地域住民とMEが一緒になって地域のインフラや土砂災害などの危険区域を点検する「協働点検」を実施しています。MEは、住民の要望に応じて、災害地形やインフラの点検方法などの専門知識を伝えます。住民は、地元の人こそが知っている土地の変化や伝承された防災の知恵等と重ね合わせて、地域でできることを実践します。この報告会では、中津川市神坂地区の協働点検の取り組みを紹介しながら、地域の特徴に応じた防災やインフラ管理について考えます。

2. プログラム

時間	プログラム	
13:30 - 13:40	はじめに ・開会のあいさつ ・本日の目的（モデル事業の趣旨） ・プログラム、お願い	司会 水谷氏（CIAM 客員准教授／パブリック・ハーツ（株）） 沢田教授（CIAM センター長） 倉内教授（CIAM 副センター長） 水谷氏（パブリック・ハーツ（株））
13:40 - 14:45	協働点検の報告 ①神坂地区協働点検の報告 ＋協働点検の紹介（動画） ②協働点検の神坂地区からの報告 ・行政の立場から ・住民の立場から ③協働点検におけるMEの役割 ④神坂協働点検のまとめ ⑤MEの役割比較 ⑥質疑	大野特任助教（CIAM） 日野氏（中津川市神坂事務所所長） 曾我氏（神坂地区区長会長） 天池氏（ME） 大野特任助教（CIAM） 加藤氏（ME）
14:45 - 15:00	休憩	
15:00 - 16:10	ワークショップ 私のまちで考える地域協働型インフラ管理	司会 井坂氏（パブリック・ハーツ（株））
16:10 - 16:40	全体討議	
16:40 - 17:00	おわりに	高木教授（地域減災研究センター 副センター長）

3. 報告会の様子



神坂地区協働点検の報告



協働点検の神坂地区からの報告



協働点検の神坂地区からの報告



協働点検におけるMEの役割



MEの役割比較

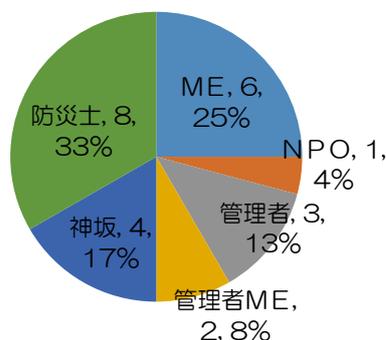


全体討議

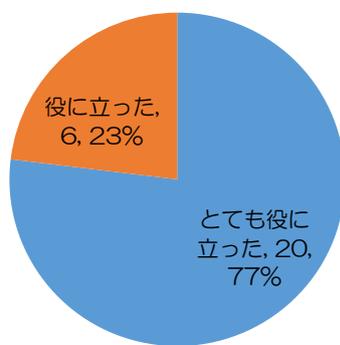
4. アンケート結果

※2016年3月18日の神坂協働点検報告者を実施した。回答者は26名であった。

立場 回答者の属性



問1 前半の報告会の内容は、役に立ちましたか？



ME の意見

取り組みを知った 勉強になった	<ul style="list-style-type: none"> 他地域の取り組みを知ることができた 前例が少ないので、勉強になりました
MEとして 関わり方を考えた	<ul style="list-style-type: none"> 今後もかかわっていきたいと感じる 地域の中でMEがどの立ち位置になればよいかなど、疑問がありましたが、地域の要望を少しでも改善できるように、橋渡しをできればよいのだと感じた
色々な立場からの 意見を聞いた	<ul style="list-style-type: none"> 色々な立場の意見を聞くことができてよかったです 神坂のようなモデル事業ケース（をそれぞれの立場でから報告していただき、それぞれにとって次の展開につなげられるものであったことが理解できた

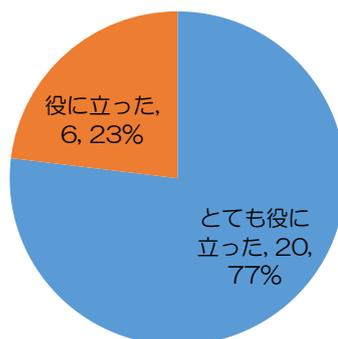
防災士の意見

MEを知った	<ul style="list-style-type: none"> MEをはじめてしまった、ぜひ関わりたい 神坂でこのような取り組みがなされていること、MEさんの存在をはじめて知りました
取り組みの期待	<ul style="list-style-type: none"> C I A MとMEの交流を期待しています
活動の必要性	<ul style="list-style-type: none"> MEの意味および今後社会に必要なことであると思います
学びがあった	<ul style="list-style-type: none"> 各立場の意見が参考になった 防災士として、インフラを知ることが、防災減災で動くのに非常に役に立つ

管理者の意見

必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> こんな活動があるんだと、よい取り組みをしていると感じた 今後の施設維持管理に役立てたい
学びがあった	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な意見を聞くことができた

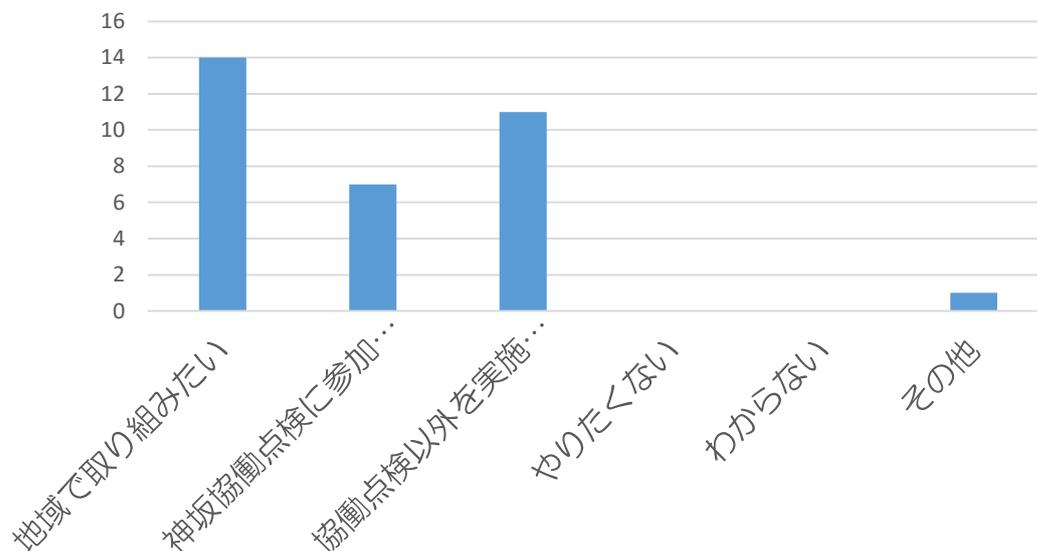
問2 後半のグループワークは、役に立ちましたか？



ME の意見

様々な意見を聞くことができた	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士の方などより、いろいろな意見を聞くことができ視野が広がった ・ 色々な立場の方の意見を聞くことができた。自分の地域以外の事情を知ることができた ・ 防災士や市役所の立場の考え方を聞く機会となった ・ 他地域の課題もわかり、同じ悩みを持っていることがわかった
課題解決を考えるきっかけになった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神坂地区にみならって、今後自分の地域でどう進めるかを参考になりました ・ 自分が住んでいる地域につて、改めて考えることができた。MEについて知っていただくことができたと思いました

問3 協働点検のような取り組みをご自身の地域でやってみたいと思いますか？



問4 今後も、協働点検のような取り組みを実施するとしたら、どのような改善を行うと良いと思いますか？
また、地域防災や地域インフラの維持管理活用のために、実施すると良いと思われる取り組みがありますか？

ME の立場

防災士との協働	<ul style="list-style-type: none"> MEと防災士など、協働してできる取り組みがあれば参加したい。例えば、地域の防災教育など 防災士とMEと市域のみなさんと協働することは大切と思います
ME と地域住民の関わり方	<ul style="list-style-type: none"> その立場の人は発起人となるかで、参加する人の意識が変わると感じた。地域より、自然自発的にMEへリクエストができることが望ましいと思った
子どもへの啓発	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの体験型のイベントに参加したい
地域住民の地域力向上	<ul style="list-style-type: none"> 区長さんだけではなく、もっと多くの住民の人とできたらよい 地域の意識をどのように高めるかが、課題と思いました 地元住民の防災意識の向上がないとそういった機会を設けることが難しいと思われるので、いかにしておれを実現するかを地道な取り組みが必要であると感じた

防災士の立場

ME との協働	<ul style="list-style-type: none"> 防災士とMEの連携、住民への働きかけ ぜひ、1日ばかりで、神坂において、防災士、ME、行政とで避難行動などのタイムラインとつくってみたいです。げんさい楽座でできないですか？
やってみたい	<ul style="list-style-type: none"> とにかく一度やってみたい

管理者の立場

すそのを広める	<ul style="list-style-type: none"> すそのを広める取り組み
---------	---

5. 今後について

上記のように、神坂地域におけるインフラ協働点検について、全ての立場の方から肯定的な意見をいただき、本活動の有用性、重要性を再確認することができました。今後も神坂地域における活動を継続するとともに、条件の異なる他地域での展開についても検討を進める予定です。興味のある方は、CIAM 事務局までお問い合わせください。

CIAM 事務局（〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1）

Tel. & Fax.:058-293-2419

Email: ciam-misaka@gifu-u.ac.jp